

1. 協働って？

最近、協働ってよく聞くけど
なんだかよく分らない？

どんなことに対して行うの？
誰が行うの？ どのように行うの？

「協」・・・協力して ⇒ 力をあわせて？
「働」・・・働くこと ⇒ 人が動くこと？



協働とは

市民と市(行政)が対等な立場で必要な情報と責任を共有し、それぞれの得意分野や特徴を活かして地域の課題やまちの魅力づくりに協力して活動することを「協働」といいます。

尾道市では、生活やまちづくりで一人(一つの団体)ではできないことを、知識や経験、能力を持っている人に相談したり、団体・事業者と協力しながら解決していきたいと考えています。

そのために、「協働のまちづくり指針」を策定し、市民の皆さんがまちづくりの主役となる取り組みを、一緒に考えていきたいと思ひます。
あなたもできることから協働のまちづくりに参加してみませんか。

では、協働のイメージを考えてみよう

どんなことを

⇒生活やまちづくりで一人ではできないことを

お祭りの後、ごみが散らかってるなあ。
でも一人じゃとても全部はできないよなあ。



だれが

⇒地域(コミュニティ)や団体・事業者が市と協力して

地域の町内会に相談してみよう。
やり方をNPOやボランティアに相談してみよう。
市役所に相談してみよう。



次の課題に向けて

目的の達成

⇒さらにつながって

来年も楽しくイベントができるぞ。
⇒今度は、ごみが出ない取り組みも
みんなで考えてみよう



いろいろな人や団体が協力するときは・・・

- ・みんなが主役です。
- ・お互いの特性や違いを認め、課題に取り組みましょう。
- ・必要な情報はみんなにわかるようにしましょう。
- ・目的が同じであることを確認しましょう。
- ・自分でできることは自分でしましょう。

どのようにすれば

→情報の共有や、役割分担をすることで

町内会や学校に参加できる人を呼びかけてもらおう。
ゴミ処理に詳しいNPOやボランティア団体にも協力を呼びかけ、指導してもらおう。
近くの会社にトラックが使えるか頼んでみよう。
市役所とごみの受け入れについて協議しよう。

